

2024年度 学生実態調査の結果概要

(2・4年生向け)

福岡看護大学
教育支援・教学IR室

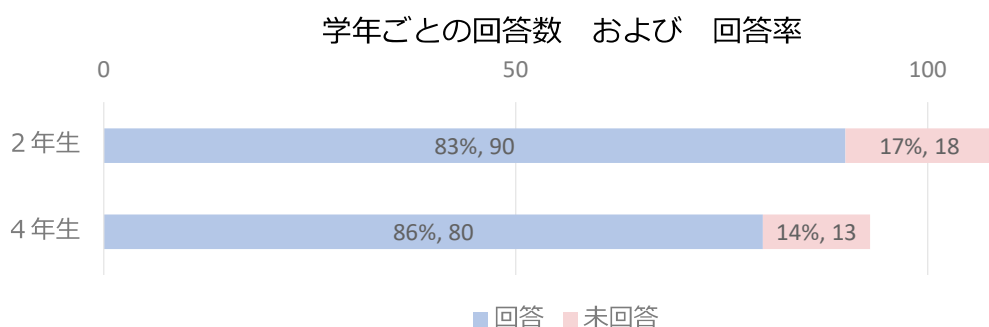
1. 回答者の概要

調査対象 2年生（108名）、4年生（93名） 合計 201名

※1年生・3年生はALCS学修行動比較調査2024にて調査

回答数 170名（回答率85%；うち2年生90名 4年生80名）

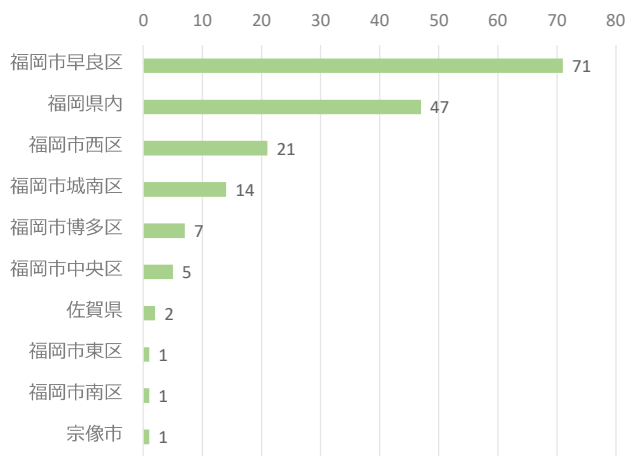
調査期間 2024/10/30～2024/12/13



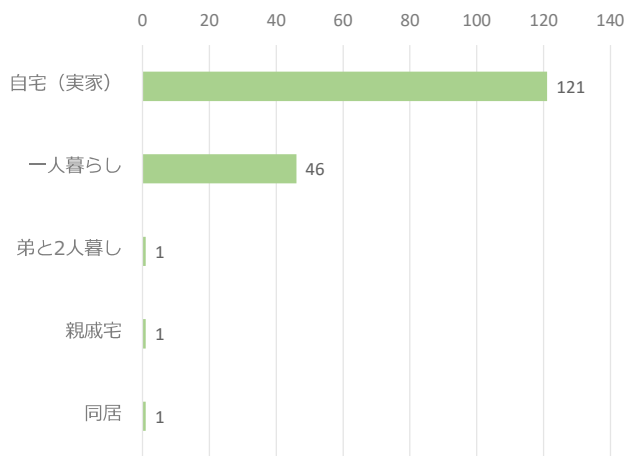
昨年度は2年生の回答率が61%と低かったが、今年度は対面でのアンケート回答依頼や、複数回にわたり回答フォローをしたため、回答率が向上した。

2.居住・通学

問1. 現在の居住地を教えてください。



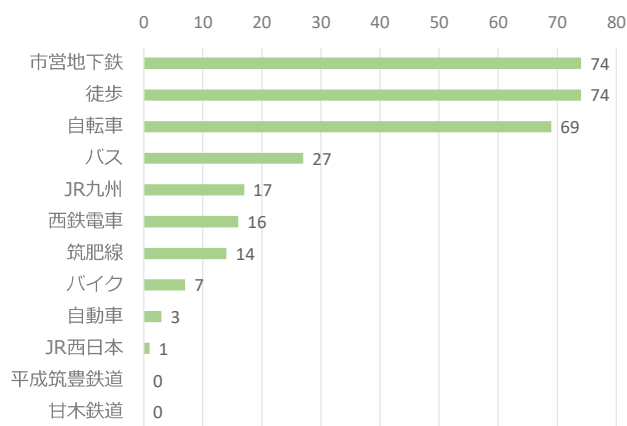
問2. 現在の居住形態を教えてください。



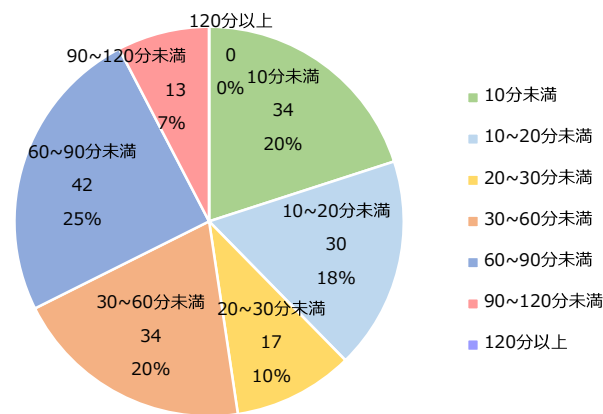
居住地は福岡市内が70%（2023年度は66%）を占めており、うち半数以上は早良区である。ほぼ県内だが、佐賀県からの通学もある。居住形態は、実家が71%、一人暮らしは27%を占め、2023年度とほぼ同等の割合であった。

2.居住・通学

問3. 主な通学方法は何ですか。



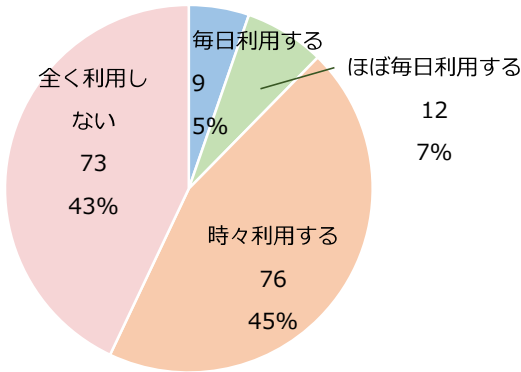
問4. 片道の通学時間はどれくらいですか。



2023年度と同様、地下鉄利用者、徒歩が多く、ついで自転車利用者が多かった。自転車利用者の割合は、2023年度36%から41%に増加した。
通学時間は10分未満から120分と幅広く、2023年度同様一番多いのは60分～90分を要する群であった。2023年度と比較すると、10分未満の群が7%増加、120分以上の群がいなくなり、60分以下の占める割合も4%増加しており、全体的に通学時間が短くなっていたと窺える。ただし、1/3の学生は60分以上かかっており、通学での疲労や朝食の欠食などが生じていないか懸念される。

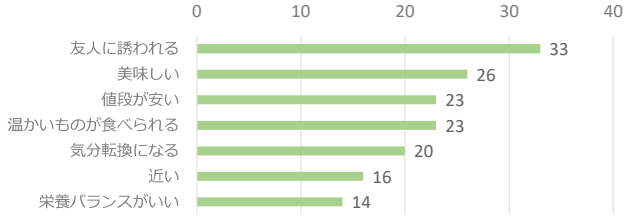
3.食生活関連

問5. 学園内の学生食堂「TOMATO」の利用状況について教えてください。

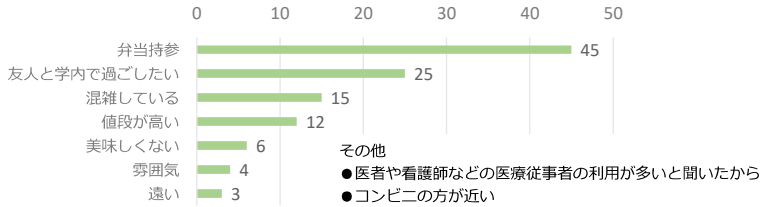


学生食堂「TOMATO」について、毎日または時々利用が12%となり、2023年度の1%より増加しており、友人に誘われる（34%）、美味しい（27%）という理由が上がっていた。一方で、全く利用しないも2023年度37%から2024年度43%に増加しており、理由として弁当持参（61%）が最も多かった。

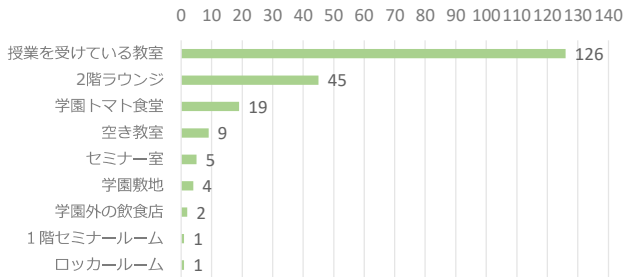
問6. 「利用する」理由を教えてください。



問7. 「全く利用しない」理由を教えてください。

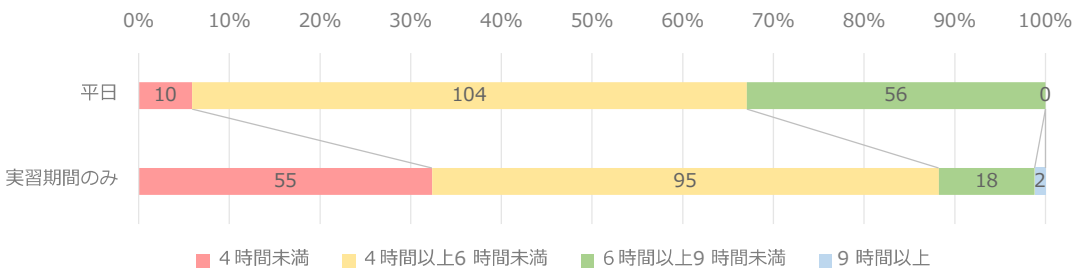


問8. 昼食や休憩に主に利用している場所を教えてください。



4.健康管理

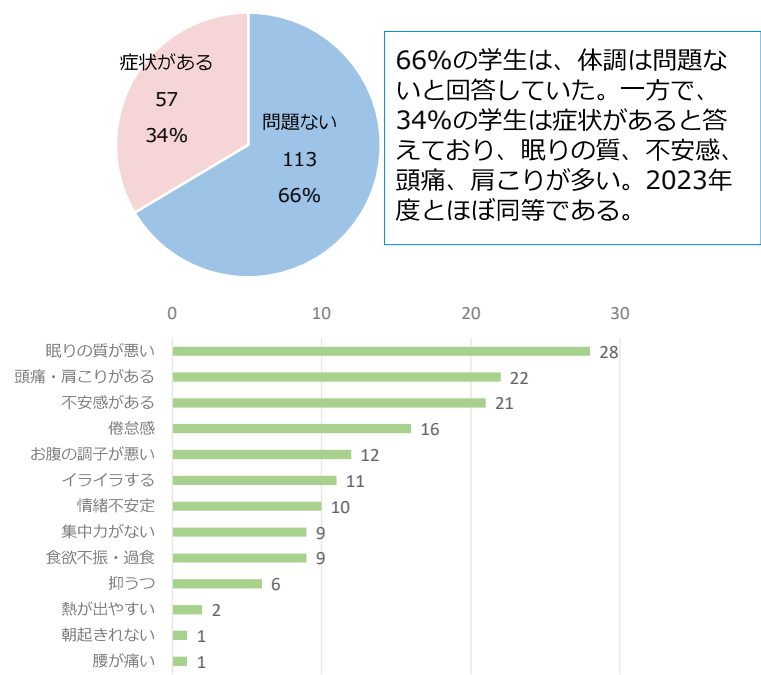
問9. 1日の睡眠時間は平均どれくらいですか（休日除く）



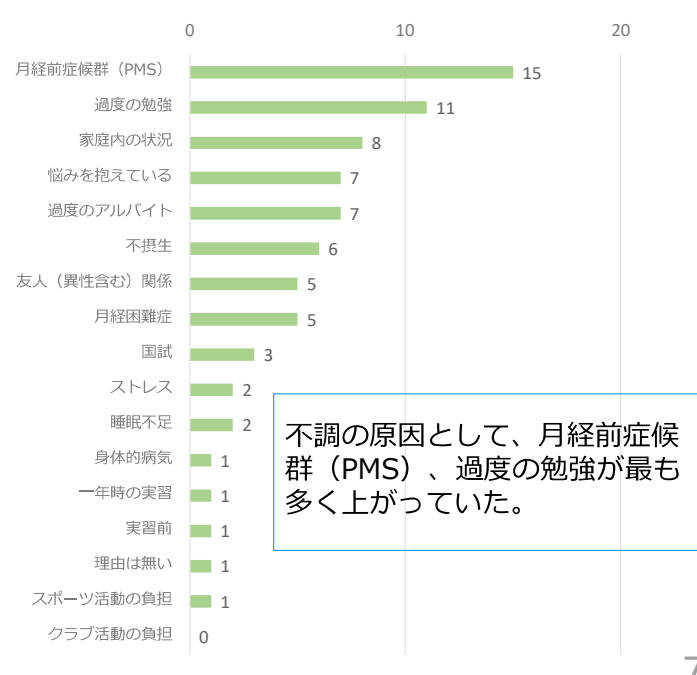
実習以外の平日は、6時間以上確保できているのは33%にとどまり、68%が6時間未満となっている。実習中になるとさらに睡眠時間が短くなり、6時間未満が88%、4時間未満が32%となっている。実習以外の平日でも6時間以上の睡眠を確保できていない学生は2023年度51% から2024年度68%と増加しており、生活習慣の改善を要する学生が増えている。

4.健康管理

問10. 最近の体調について教えてください。

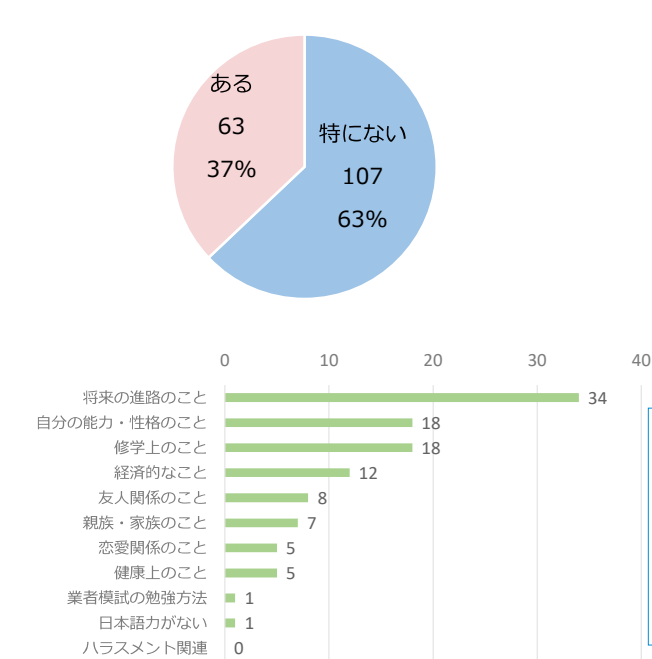


問11. 不調の原因を教えてください。

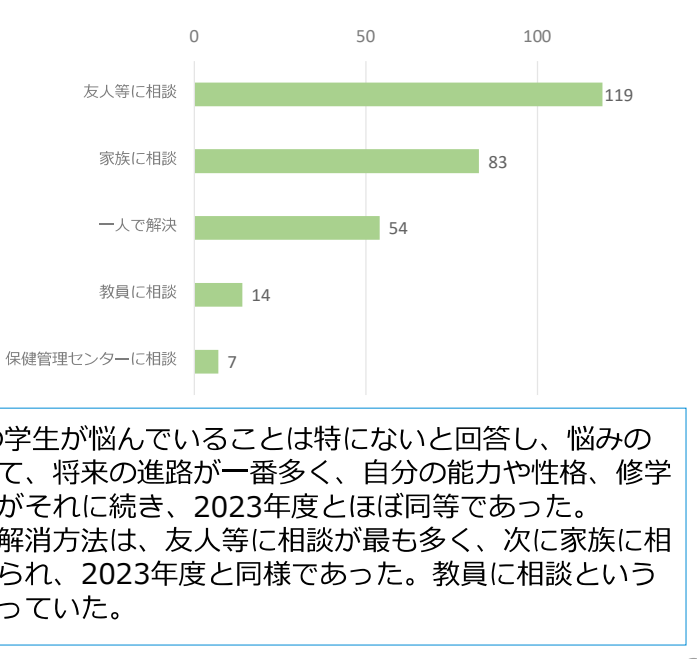


4.健康管理

問12. 現在、何か悩んでいることはありますか。

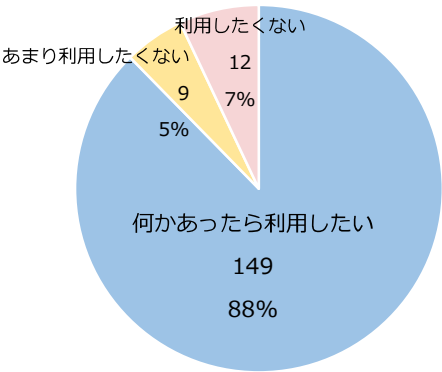


問13. 悩みの解消方法を教えてください。

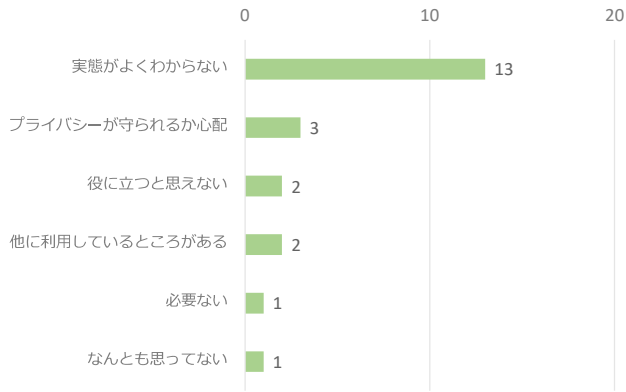


4.健康管理

問14. 保健管理センターの利用をしたいと思いますか。



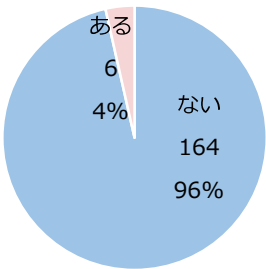
問15. 「あまり利用したくない/利用したくない」と答えた理由を教えてください。



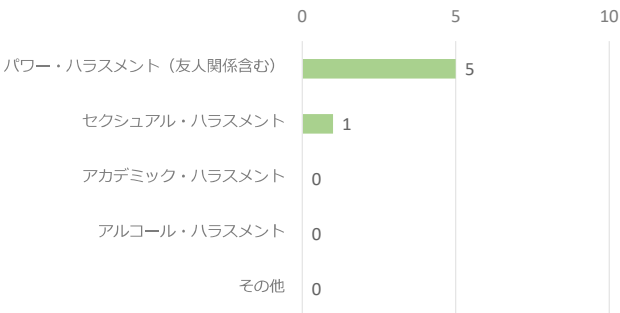
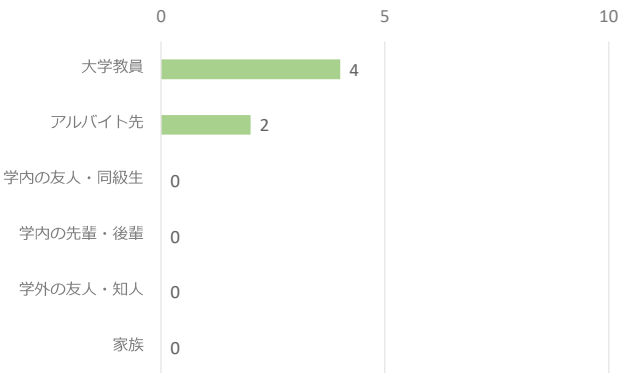
保健管理センターについて、多くの学生が何かあったら利用したいと答えていた。

4.健康管理

問16. 大学在学中にハラスメントを受けた経験はありますか。



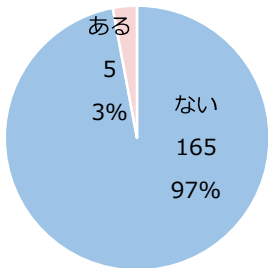
問17. 誰からハラスメントを受けましたか。加害者の身分（属性）はどれですか



回答者の4%（6名）にハラスメント被害の経験があり、2023年度と同様であった。加害者は、大学教員が最も多く、次いでアルバイト先であった。

4.健康管理

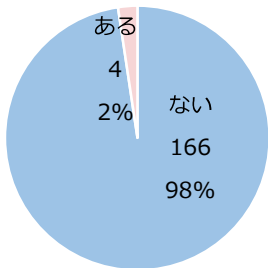
問18. 学内で他人からセクハラやアカハラの被害にあっているのを見たり聞いたりしたことがありますか



学内でハラスメント被害を目撃したり聞いたことがある学生は3%（5名）で、2023年度と同様であった。

ハラスメントに関する相談をしたことがある学生は2%（4名）であった。相談相手は教職員（ハラスメント相談員以外）やハラスメント相談員、保護者、学外機関であった。

問19. ハラスメントに関する相談をしたことありますか。

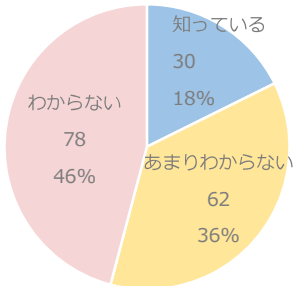


問20. 「ある」と答えた方は、どこに相談しましたか。



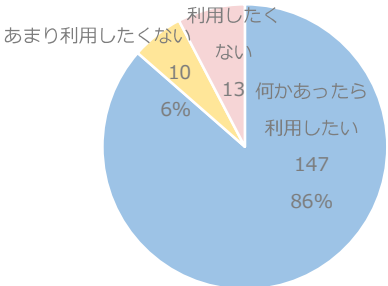
4.健康管理

問21. ハラスメント相談員の利用方法を知っていますか。

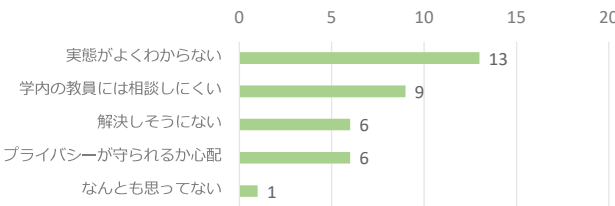


知っていると答えた学生は18%であり、2023年度の10%からは増えたが、まだ周知できているとは言えない状況である。ハラスメント相談員を利用する意向は学生側にあるにもかかわらず、利用方法が学生に伝わっていない。利用の意向がない学生も、実態が解れば利用の意向へ向かう可能性もある。

問22. ハラスメント相談員の利用をしたいですか。

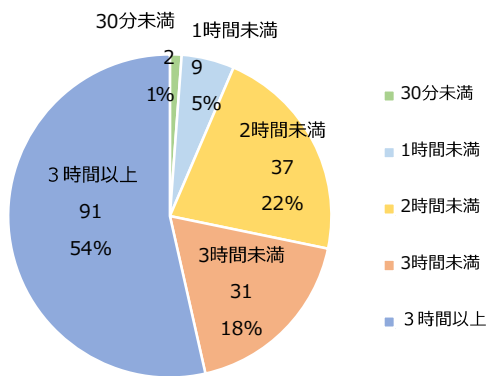


問23. 「あまり利用したくない/利用したくない」と答えた理由を教えてください。

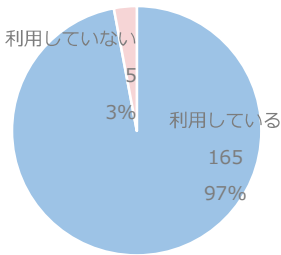


4.健康管理

問24. 勉学・研究以外の目的でインターネット（スマホ）を使用する1日当たりの時間を教えてください。



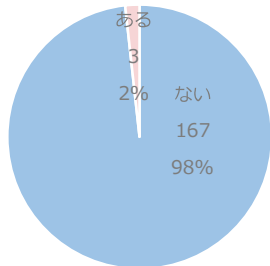
問25. SNS の利用状況を教えてください。



1日当たり、3時間以上を勉学・研究以外の目的でインターネット（スマホ）に費やす学生が半数以上である。また学生のほぼ全員がSNSを利用しており、2023年度と同様である。

4.健康管理

問26. 身の危険・犯罪的勧誘などを感じた経験はありますか。



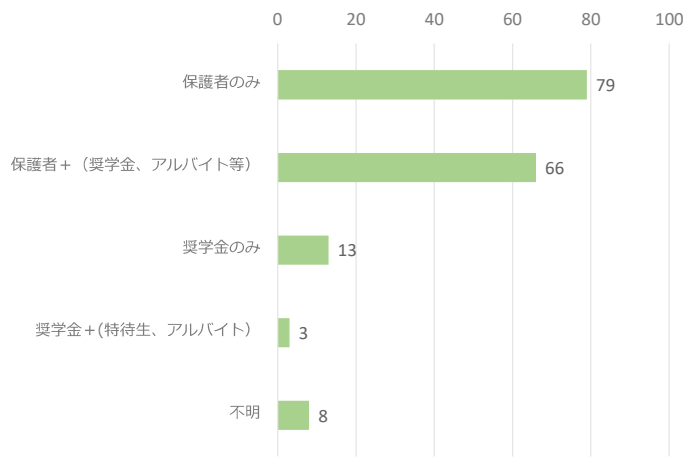
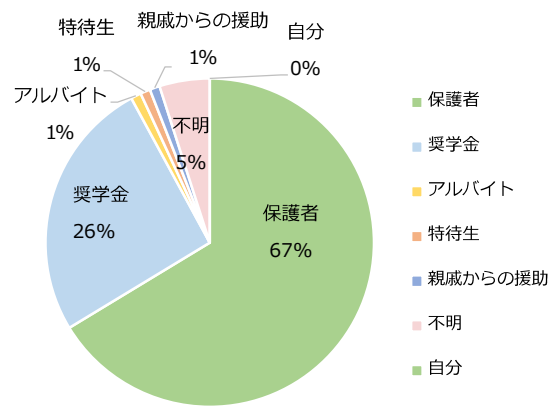
問27. 「ある」と答えた方は、身の危険・犯罪的勧誘などを感じた内容を教えてください。



2%（3名）の学生が、不審者・痴漢などとの遭遇（2名）、ストーカー（1名）の経験があると答えている。相談や解決できたかについては不明である。

5.経済的事項

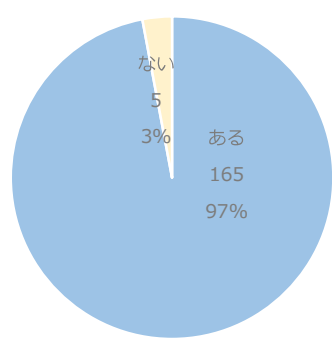
問28. 学費のおおよその負担割合（％）を教えてください。



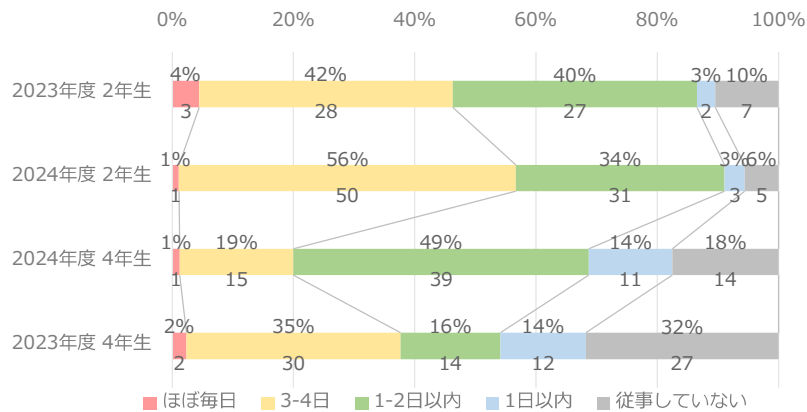
学費の負担割合は保護者が一番多く、ついで奨学金の割合が多い。

5.経済的事項

問29. 大学入学後にアルバイトの経験はありますか。



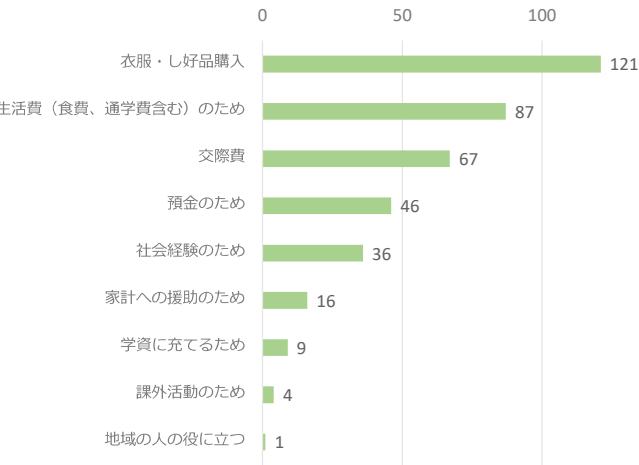
問30. 最近の学期期間中のアルバイトの頻度はどのくらいですか。（週当たりの日数）



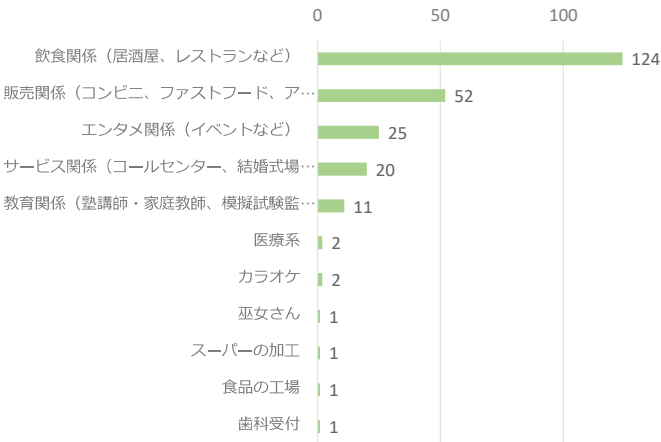
97%の学生はアルバイトの経験があり、2023年度の94%から若干増えた。アルバイトの頻度を学年別でみると、2年生では、「3-4日」が最も多く半数以上を占めるが、4年生になると「1-2日以内」が最も多く、「従事していない」が18%まで増加し、アルバイトの頻度が減っていた。年度で比較すると、2年生では、2024年度の方が2023年度よりアルバイト頻度が増えている傾向にあった。4年生では、2023年度は「3-4日」が35%と最も多かったが、2024年度は「1-2日以内」が49%と最も多く、週3日以上アルバイトしている学生が減少した一方で「従事していない」学生も14%程度減少している。

5.経済的事項

問31. アルバイトをする理由はなんですか。



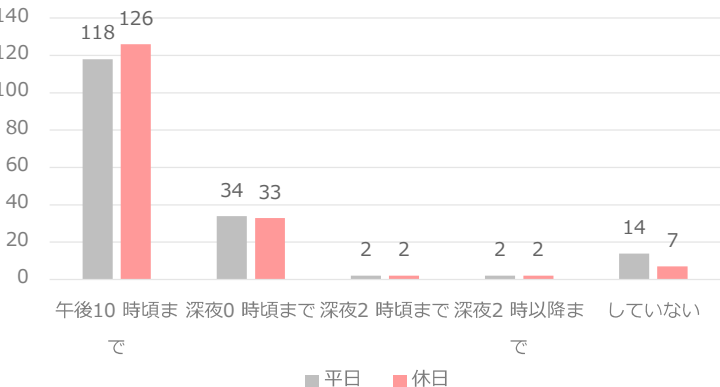
問32. 大学入学後に経験したアルバイトの職種は何ですか。



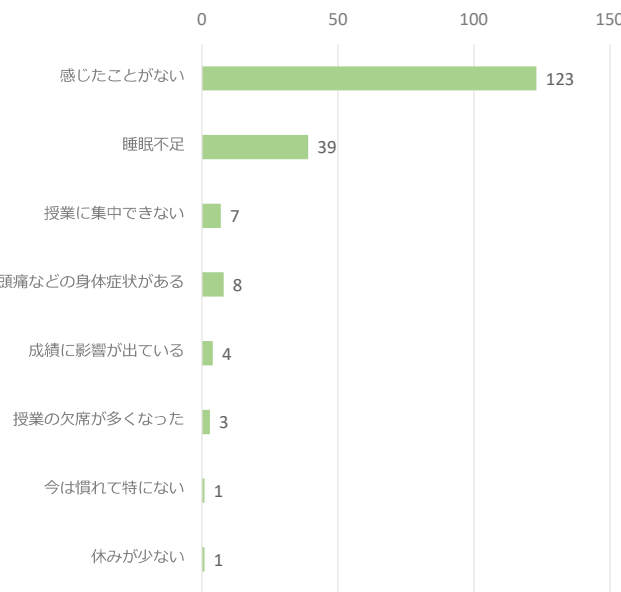
アルバイトの目的は、衣服嗜好品の購入が最も多く、生活費、交際費という回答が続き、2023年度と同様であった。
アルバイトの種類は、2023年度と同様、飲食関係が最も多かった。教育関係の割合が、2023年度の16%から6%へと減っていた。

5.経済的事項

問33. アルバイトの平均的な終了時間はいつですか。



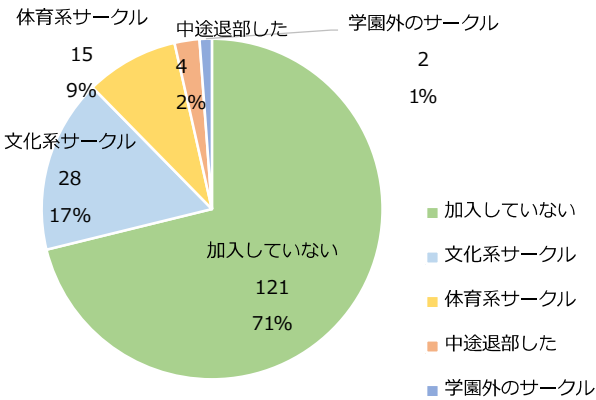
問34. アルバイトで学業や生活に支障を感じたことがありますか、またそれはどんなことですか。



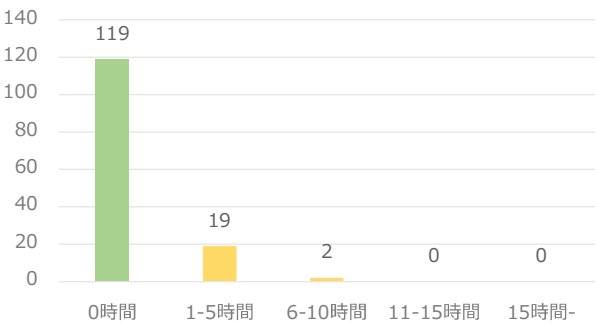
アルバイトの終了時間は、平日・休日とも同様に、午後10時頃までという回答が約7割を占めた。2023年度と比較すると、深夜0時までの学生が微増し、していない学生が減少した。2割（39名）は睡眠不足を感じ、修学への影響を自覚する回答もあった。

6.大学生活

問35. サークル（課外活動）への参加状況を教えてください。
（歯科大サークル含む）



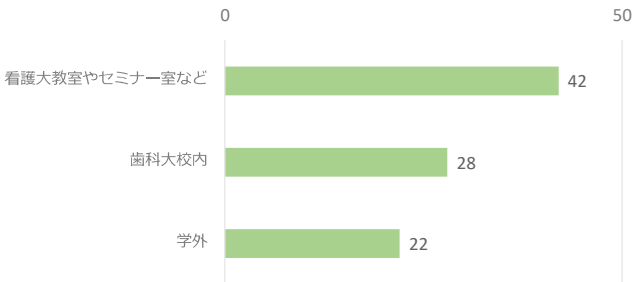
問36. 1 週間あたりのサークル活動時間を教えてください。
※全国学生調査2024から抜粋



サークルに参加しているのは、26%（45名）に限られていて、2023年度と同様であった。
文化系サークルが多く、活動は週に1～5時間程度が多かった。

6.大学生活

問37. 主なサークル活動の場所はどこですか。



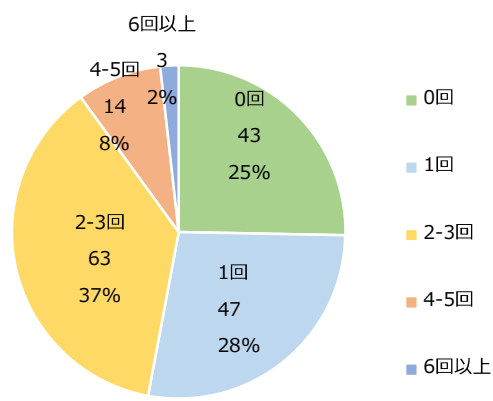
問38. サークル活動に関する要望があれば、教えてください。

・男女関係なくできるサッカー部があったらいいなと思う

サークル活動の場は学園構内が多かった。2023年度は活動の場の確保を求める回答が多かったが、今年の特になかった。

6.大学生活

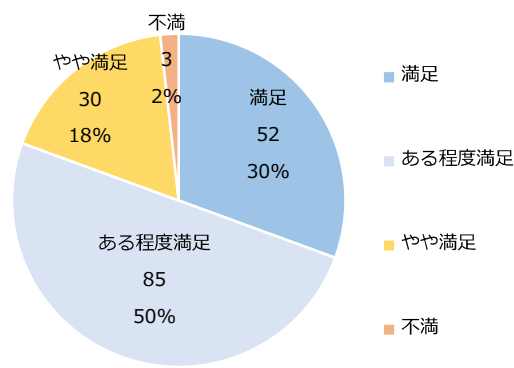
問39. 大学入学後のボランティア活動の経験を教えてください。



75%が何らかのボランティア活動の経験があった。2-3回という回答が最も多く、2023年度より回数が増えおり、2023年5月以降、COVID-19の感染症法5類移行に伴って、機会が増えたと考えられる。

6.大学生活

問40. 大学ポータルサイトの満足度を教えてください。



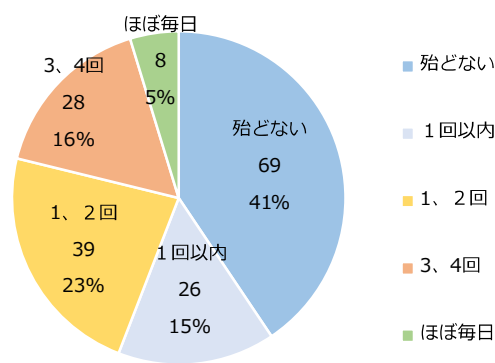
問41. ポータルサイトに関する要望があれば教えてください。

- ・毎回承認しないといけない入力しにくい開くのに時間がかかる色々手間がかかる（2名）
- ・成績表が1年前期、1年後期のように時期ごとの教科でも見れるようになると便利
- ・シラバスが前に比べて見にくい
検索はしやすくなったが、複数個見たい時にいちいち検索しないといけなくなった
- ・画面が見にくい

ポータルサイトについては、概ね満足しており、2023年度とほぼ同様な結果となった。Microsoft365の認証を手間を感じている学生がおり、今後様々な仕組みを電子化していくなかで、学生の操作負担がより少ない方法を検討していく必要がある。

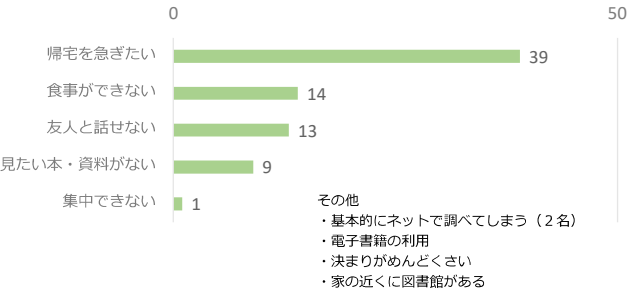
6.大学生活

問42. 学習目的での図書館の利用頻度について教えてください。
(適当たり)

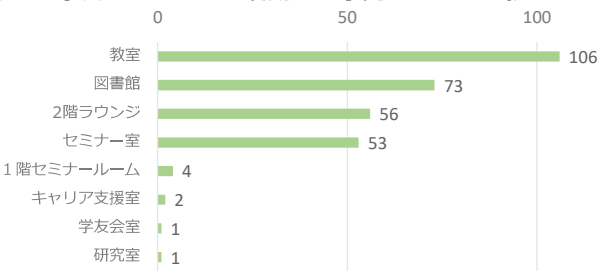


学習目的で図書館を利用しているのは59%の学生で、利用しない理由としては帰宅を急ぎたいというものが多かった。国試対策支援の一環として、キャリア支援室・学友会室・セミナー室を解放したため、これらの利用者数が増えた。

問43. 図書館をあまり利用しない理由を教えてください。



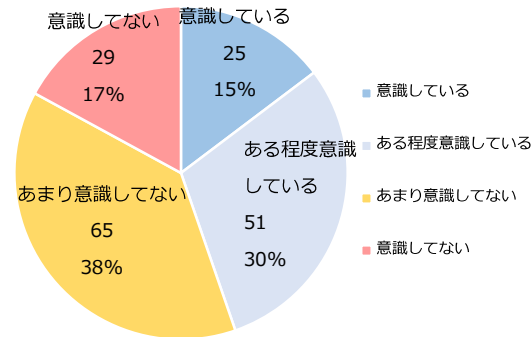
問44. 学習のためによく利用する学内スペースを教えてください。



23

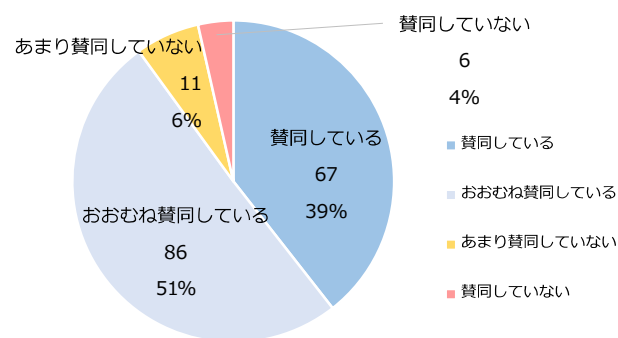
6.大学生活

問45. SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の“目標13：気候変動に具体的な対策”を意識して生活していますか？

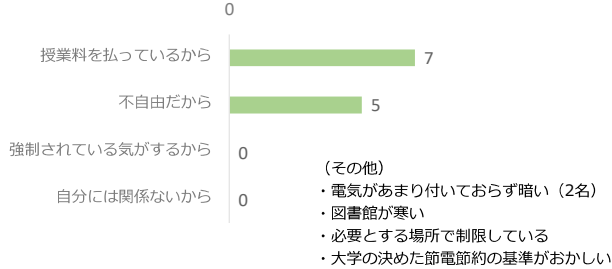


SDGsの目標13については、意識の有無の割合は2023年度と同様な割合であった。SDGsを意識した大学の節電については、賛同している/概ね賛同しているは90%を占め、2023年度の82%より増加した。

問46. SDGsを考えた大学の節電についてどう思いますか？



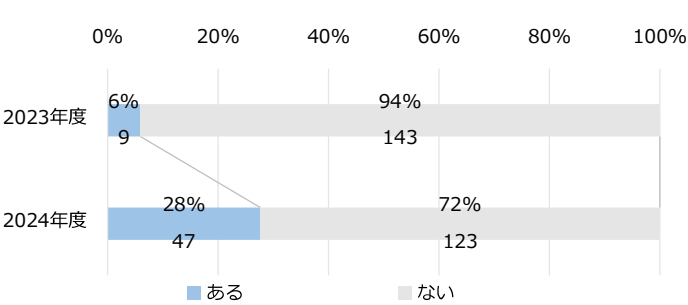
問47. 「あまり賛同していない/賛同していない」を回答した理由を教えてください。



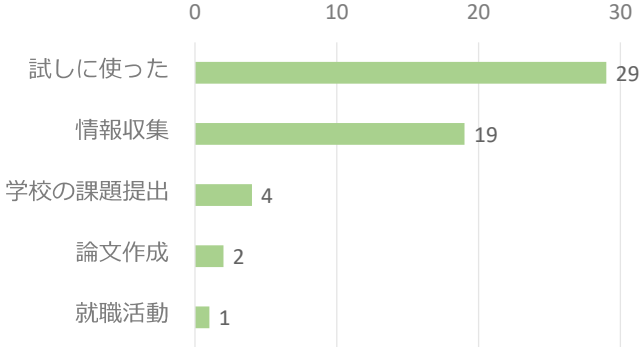
24

6.大学生活

問48. テキストや画像などを自動的に生成できるChatGPTなどの生成AI（人工知能）を利用したことがありますか？



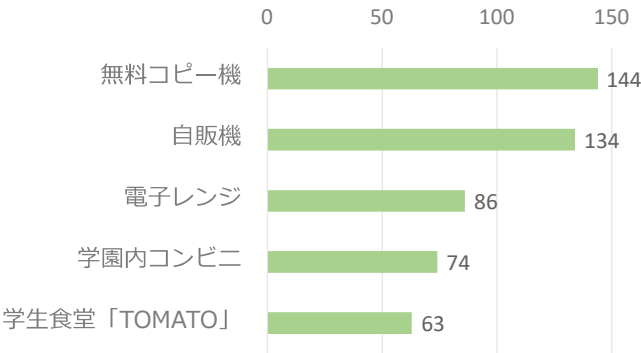
問49. 「ある」と答えた方は、どういう目的で使いましたか？



生成AIの利用は、利用したことがある学生が2023年度の6%から28%と増加しており、徐々に浸透していることがうかがえる。
利用目的は試しに使ったや情報収集が多かったが、生成AIの利用が増えるに伴い、学校課題への不正利用や個人情報流出などが懸念されるため、ガイドライン整備や学生への指導などの検討が必要である。

6.大学生活

問50. 大学内の福利厚生設備の利用状況について教えてください。使用しているものを選択してください。

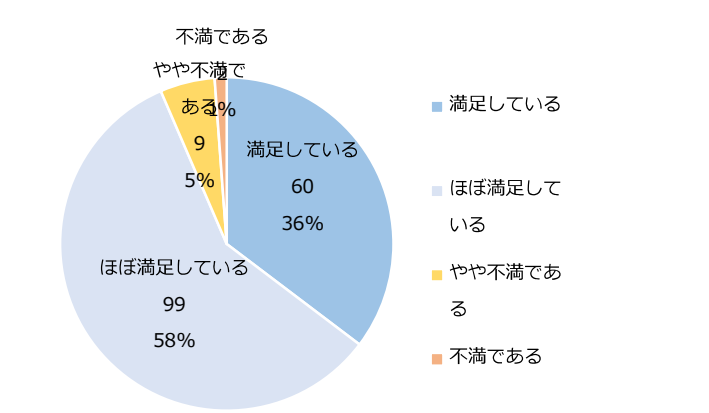


問51. 大学内に希望する設備とその理由を教えてください。（任意記述）

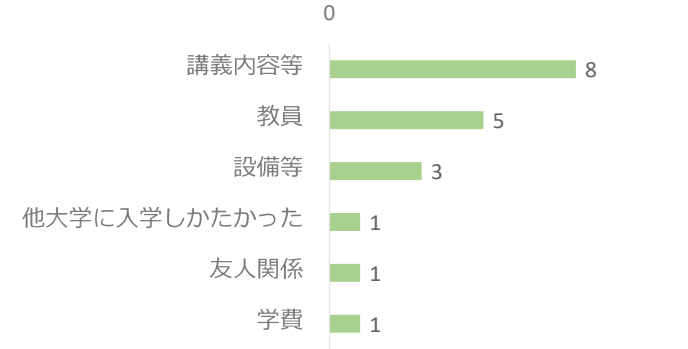
- ・ウォーターサーバー（3名）
- ・アイス自販機（2名）
- ・電子レンジの増設
- ・冷蔵庫の設置
- ・トースター設置
- ・コンビニ自販機
- ・売店
- ・OiTr
- ・銀行（手数料が取られないATM利用可能時間内に行きたいため）
- ・コンビニを変えて欲しい
- ・エスカレーター
- ・Wifi の強化
- ・教室の各机にコンセントを設置して欲しい。
（教室の後ろ棚が用意されたが、授業間の10分間では充電がほとんどたまず、みんな昼休憩にすることが多いため、コンセントの争奪戦になってしまう）
- ・コピー機の制限枚数の増加
（教材をユニテキストに変更するなら無くして欲しい。）

7.教育内容

問52. 入学後、現在の学部(学科)・研究科に満足していますか



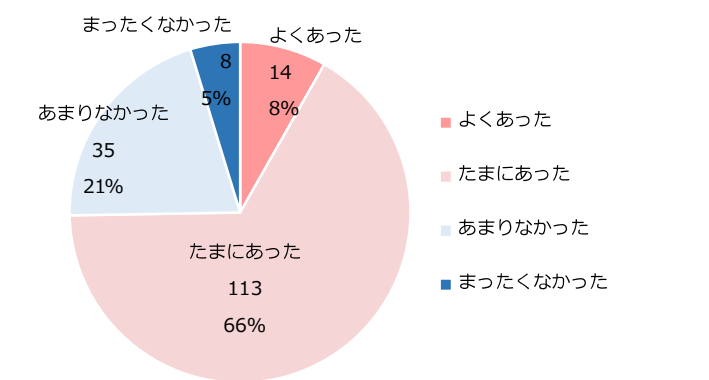
問53.現在の学部（学科）・研究科に満足できない場合、その理由は何ですか



回答した学生の94%が本学にほぼ満足しており、2023年度の91%より微増していた。不満の内容としては、講義内容、教員等が挙げられていた。

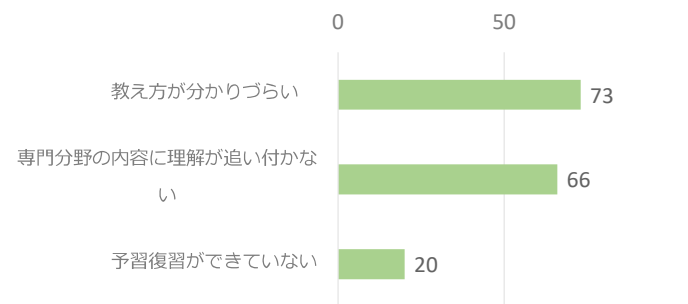
7.教育内容

問54. 大半の内容が理解できなかった授業はどれくらいありましたか。



大半の内容が理解できなかった授業がよくあったと答えた学生は8%で、たまにあった学生を合わせると74%に及んだ。教え方を指摘する意見が一番多かったが、理解ができないものや予習復習というような自身の要因をあげる学生も多かった。

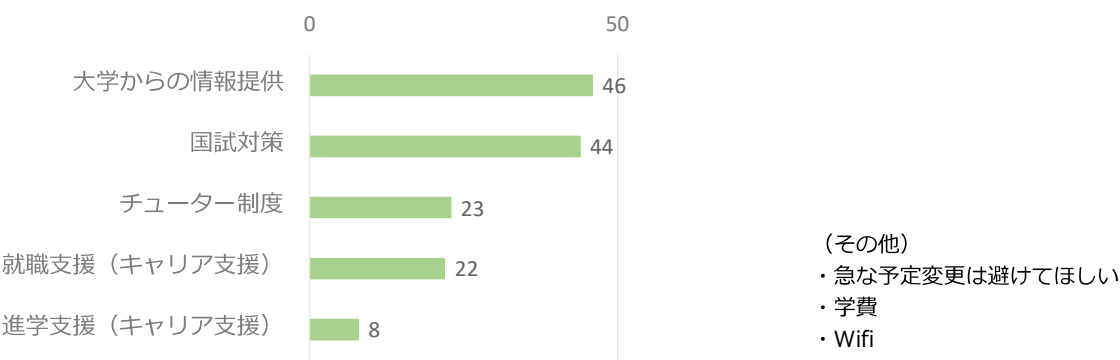
問55.授業の内容が理解できなかった授業に対して当てはまるのは何ですか



(その他)
・スライドが早すぎる、生徒の書くスピードを見ずに次に進んでるから追いつかなかった
・説明が回りくどい
・説明が足りてなくて、友人同士で先生たちの説明を推測して確かめ合う時間が絶対にある。
・実習や国試の時期がある中で本当にその時期にその授業をする必要があるのか疑問

8.大学への改善希望

問56. 大学からのサービスについて、充実・改善してほしいものはどれですか



充実・改善を期待するものとして、大学からの情報提供（27%）、国試対策（26%）が多かったが、多数を占めているわけではなかった。